

令和4年度キャリア教育指導者養成研修 実施要項

1 目的

児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくため、各教科・科目等の特質に応じたキャリア教育を充実させることが求められている。

本研修では、学校や地域において、1) キャリア教育に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し組織的な取組を推進する力、2) 教職員の専門性向上を推進する力、を習得した指導者の養成を図る。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構、富山県教育委員会

3 共催 文部科学省

4 期間

回	期間	都道府県
第1回	令和4年 6月21日(火) ～6月24日(金)	北海道、岩手県、秋田県、福島県、栃木県、茨城県、東京都、新潟県、石川県、山梨県、岐阜県、愛知県、滋賀県、大阪府、奈良県、鳥取県、岡山県、山口県、香川県、高知県、佐賀県、熊本県、宮崎県、沖縄県
第2回	令和4年 8月23日(火) ～8月26日(金)	青森県、宮城県、山形県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、富山県、福井県、長野県、静岡県、三重県、京都府、兵庫県、和歌山県、島根県、広島県、徳島県、愛媛県、福岡県、長崎県、大分県、鹿児島県

5 会場 パレブラン高志会館
〒930-0018 富山県富山市千歳町1-3-1

6 定員 各回80名(4ユニット)

7 受講者

(1) 受講資格

- ①都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
- ②小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭等であって、各地域において本研修内容を踏まえた研修のマネジメントを推進する指導者としての活動を行う者
※全日程を通して受講できる者を推薦すること
※「第5次男女共同参画基本計画」(令和2年12月25日閣議決定)を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を20%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。(参考:令和3年度…20%)

(2) 推薦人数

経営コース、推進コースともに、各都道府県（中核市分を含む）においては2名程度、各指定都市においては1名程度とする。

なお、中核市を有する都道府県においては、各中核市からの推薦数を1名以内とした上で、上記基準を超過して推薦できるものとする。

(3) 推薦手続

第1回開催分の推薦期限は、令和4年4月20日(水)とする。

第2回開催分の推薦期限は、令和4年6月22日(水)とする。

各機関においては、「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。定員を超過する場合は、受講者数を調整する。

8 研修内容

別紙1「日程表」のとおりとする。

小学校・中学校・高等学校におけるキャリア教育の定着や充実をねらいとし、発達段階に応じたキャリア教育の在り方やキャリア教育推進のための具体的な手立て等について、演習や課題協議を実施する。また3日目～4日目午前にかけて、一部の日程を「経営コース」と「推進コース」に分かれて研修を行う。各コースの対象と内容は以下のとおりとする。

【経営コース】

対 象	・教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事等 ・校長、副校長、教頭等
内 容	演習等を通して、キャリア教育を域内や校内で推進する上で必要な連携体制の在り方や、キャリア教育の評価・改善方策などを協議する。

【推進コース】

対 象	・教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事等 ・主幹教諭、指導教諭、教諭
内 容	演習等を通して、各教科等においてキャリア教育の充実を図るための指導の在り方や工夫、個に対する指導の在り方などを協議する。

9 事前課題

(1) 研修成果活用計画書の作成

演習・協議用資料として、事前に研修成果活用計画書（A4用紙1枚程度を予定）を作成し、提出すること。なお、内容、提出期限、提出方法については、受講者決定時に別途連絡する。

(2) 事前課題、提出資料の作成

事前課題として、録画講義を視聴し、視聴内容についての課題を提出すること。また、キャリア教育の実践状況についてまとめた資料（A4用紙1枚程度を予定）を作成し、提出すること。なお、内容、提出期限、提出方法については、受講者決定時に別途連絡する。

10 その他

- (1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。
- (2) 宿泊の手配等については各自で行う。研修に際し、特別な配慮が必要な者（障害、持病等）を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。
- (3) 推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

令和 4 年度 キャリア教育指導者養成研修 日程表

第 1 日目

	9:30	10:30	12:30	13:30	14:45	15:00	17:00	
第 1 回 6 月 21 日 (火)	開 講 式	本 研 修 の 進 め 方	講義・演習 「キャリア教育の理解①キャリア教育の理解」 「カリキュラム・マネジメントの展開①キャリア教育」 文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導調査官 長田 徹	休 憩	昼 休 み	講義・事例発表 「社会に開かれた教育課程の編成①横の連携を意識したキャリア教育」 文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導調査官 長田 徹	休 憩	講義・事例発表・協議 「社会に開かれた教育課程の編成②横の連携を意識したキャリア教育（校種別）」 小学校 講師 事例 中学校 講師 事例 高等学校 講師 事例 目的：校種別に学校と地域の協働によるキャリア教育の具体を考え、成果と課題を整理する。(事前課題持ち寄り意見交換)
第 2 回 8 月 23 日 (火)				目的：キャリア教育の背景や必要性を理解し、最新情報に触れる。また、4 日間に見通しを持つ。				

第 2 日目

	8:50	10:50	11:05	17:00
第 1 回 6 月 22 日 (水)	講義・事例発表 「児童生徒の発達を促す①縦の連携を意識したキャリア教育」 「キャリア教育の理解②『キャリア・パスポート』の展開」 文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導調査官 長田 徹	休 憩	適 宜 休 憩 (昼休み含む)	17:00
第 2 回 8 月 24 日 (水)			演習 「児童生徒の発達を促す②縦の連携を意識したキャリア教育」 「カリキュラム・マネジメントの展開②キャリア教育全体計画の作成」 講師	
	【事例発表】 目的：学習指導要領におけるキャリア教育の方向性を確認するとともに、キャリア教育の中核の時間となる「特別活動」及び「キャリア・パスポート」について理解を深める。		目的：児童生徒の現状や身につけさせたい資質・能力を踏まえた指導計画作りを通して、キャリア教育推進のためのプログラム開発に必要な知識・方法を得る。	

第3日目

第1回 6月23日 (木)	両コース共通		経営コース				
	8:50	10:20	10:35	12:00	13:00	14:30 14:45	17:00
	講義・演習 「児童生徒の発達を促す③キャリア・カウンセリングの基盤としてのコミュニケーションスキルの向上」		講義・演習 「カリキュラム・マネジメントの展開④PDCAサイクルを踏まえた指導計画等の評価・改善手法」		講義・演習 「カリキュラム・マネジメントの展開⑤PDCAサイクルを踏まえた指導計画等の評価・改善手法」		
	講師		【事例発表】		目的：キャリア教育の視点からPDCAサイクルの理論と具体を知り、カリキュラム・マネジメントのまとめにつなぐ。		目的：キャリア教育の視点からPDCAサイクルの理論と具体を知り、カリキュラム・マネジメントのまとめにつなぐ。
	第2回 8月25日 (木)		目的：キャリア・カウンセリングの理論と具体について体得する。		目的：キャリア教育の視点からPDCAサイクルの理論と具体を知り、カリキュラム・マネジメントのまとめにつなぐ。		
		推進コース					
		10:35	12:00	13:00	17:00		
		昼休み		休憩		休憩	
		演習 「カリキュラム・マネジメントの展開③各教科・科目等を中心としたキャリア教育年間指導計画の作成」 文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導調査官 長田 徹					

第4日目

第1回 6月24日 (金)	経営コース		両コース共通			
	8:50	12:15	13:15	15:15	15:30	
	演習 「カリキュラム・マネジメントの展開⑥PDCAサイクルを踏まえた指導計画等の評価・改善手法」 文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導調査官 長田 徹		講義・質疑応答 「本研修の振り返り」 「研修講師を務めるに当たって」 文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導調査官 長田 徹			閉 講 式
	目的：全体計画と年間指導計画を評価し、改善につなぐ。本研修を通じて進めてきたカリキュラム・マネジメントをまとめる。		目的：本研修を振り返り、研修内容等について整理するとともに、研修成果を活用して各地域で研修講師を務めるための研修計画を作成し、情報交換を行う。			
	第2回 8月26日 (金)		推進コース			
8:50						
課題協議 「キャリア教育における個別的な支援・指導の在り方」 講師						
目的：キャリア教育における個別支援の必要性を知り、その具体について体得する。						